



みどころ
いっぱい

出石・但東コース

ドライブコース

1 出石のまち並み



城下町として整備された町割りに、歴史ある建造物が立ち並び、「但馬の小京都」と呼ばれています。早くから町並み保存の取り組みが行われ、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されています。赤味を帯びた土壁も特徴の一つ。赤壁の酒蔵などが、見どころとなっています。

2 出石鶴山



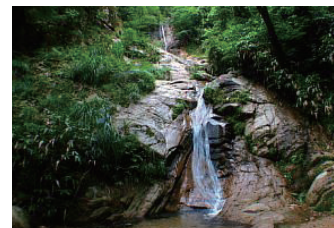
かつて「日本で唯一のコウノトリの繁殖地」として、山自体が天然記念物に指定されていた場所です。近くには、鶴見茶屋もありました。近年、地元住民による里山整備が行われて、荒廃していた森林が再生され、遊歩道、案内板、ベンチや展望デッキが整備されました。

3 出石神社(但馬一宮)



但馬一宮神社として但馬開発の祖神、天日槍と八種の神宝が祀られています。古事記、日本書紀にも名を連ね、古くから山陰の大社であったといわれています。当地では、別名「一宮さん」と呼び、親しまれています。

4 白糸の滝



円山川水系出石川に注ぐ袴狭川の上流にある落差30mの花崗岩でできた滝です。上下2段に分かれ、上部の滝の滝壺まで上ることができます。兵庫森林浴50選に指定されており、白糸を流したような美しい姿が人の心を癒します。

5 但馬天満宮



平安時代に菅原道真の一族が建立したと伝えられ、地元では「学問の神様」として知られています。受験シーズンには学業成就合格祈願祭が行われ、多くの受験生が訪れます。当日はジャンボ絵馬や、くぐると合格するという「五角(合格)の門」が境内に設置され、甘酒やお餅などがふるまわれます。

6 安國寺のドウダンツツジ



その歴史は1345年までさかのぼる、由緒あるお寺です。座敷に面し、山の傾斜を活かして築かれた庭には、樹齢100年以上のドウダンツツジが群生し、秋の紅葉の時期には絵のような美しさです。モリアオガエルや夏つばきも有名で、新聞・テレビなどでも多く取り上げられています。

7 シルク温泉やまびこ



地下1,100mの花崗岩帯から湧き出る天然温泉。高成分な2種の重曹泉をもち、肌がつるつるになると評判のお湯です。豊かな緑に囲まれた田園のいで湯で、水車のある露天風呂や山並みを眺められるサウナなどがそろっています。エステサロン、食事処、喫茶、土産処、宿泊施設も併設しています。

8 久畑関所跡(桂小五郎の最大の危機を伝える)



旧山陰道(京街道)の但馬と丹波の境に位置し、江戸時代には関所がおかれていました。桂小五郎(後の木戸孝允)が蛤御門の変の後、京都から出石に向かう途中、出石城下に入る手前のこの関所で、厳しい取り調べを受けましたが、出石出身の商人、広戸基助に助けられたという逸話が残っています。

9 大生部兵主神社(天王さん)



「天王さん」と呼ばれ、牛馬の神様を祀る神社として古くから人々に親しまれてきました。毎年春の大祭(5月上旬)には、五穀豊穡、進学祈願、家内安全、商売繁盛を願って多くの人が訪れます。神楽「浦安の舞」、福くじ、福餅まきなどが行われます。本殿と拝殿の2棟は市の文化財に指定されています。

10 日本・モンゴル民族博物館



モンゴル民族の文化・歴史を紹介する博物館です。移動式住居「ゲル」や民族衣装など、暮らしに関する品々やモンゴルの芸術、歴史的な資料などを展示しています。また、但東地域でかつて使われていた民具や室内を復元した展示もあり、山村でのかつての暮らしをうかがい知ることができます。

11 日出神社



「延喜式内社」に名を残す古社です。祭神は、天日槍の四世「多遲摩比多詞」です。三間社流造の本殿は室町時代の造営とされており、国指定の重要文化財となっています。また境内には、後醍醐天皇の第六皇子、恒良親王が幽閉されたという旧跡もあります。

12 たんとう花公園



但馬の春の風物詩となった「たんとうチューリップまつり」では、1992年から毎年、色とりどりのチューリップを使い、趣向を凝らしたフラワーアートが観光客を魅了します。特産品の販売やバザー、チューリップ狩り、写真コンテストなども開催されています。

ジオコラム 1

花崗岩と人々の暮らし

縄文時代、出石のまちは、リアス海岸の入り江の奥に位置していました。出石川の上流には、削られやすい花崗岩が広く分布しています。そのため、大量の土砂が供給され、出石川の河口付近に肥沃な土地ができました。こうして、出石のまちは稲作に適した土地となり、早くから栄えました。出石にある出石神社に渡来人とされる天日槍が祀られるなど、入り江を利用して大陸との交易があったと考えられています。



出石の町を歩くと赤い色をした蔵を目にすることができます。花崗岩起源の土を使った土壁で、赤色は花崗岩に含まれていた赤い鉱物に由来します。



ピンク色の部分が花崗岩

京街道

但馬周辺の花崗岩は風化が進んでおり削られやすく、比較的地形がなだらかになります。但東町にも花崗岩が広く分布し、但馬の中では比較的なだらかな地形が広がっています。そのため、峠がゆるやかで京都との交流の玄関口となっていました。出石と京都を結ぶ地点でもあり、人の行き来が多くありました。

ジオコラム 2

出石焼



透き通るような白さが美しい出石焼は、国内でも珍しく色付けをほとんどしない白磁器です。白さの秘密は、原料となる陶石にあります。江戸時代の中頃、出石の谷山から、流紋岩の風化した真っ白な岩石(陶石)が大量に発見されました。良質な陶石が安定して採取できたことが、出石焼の発展を支えました。

出石皿そばは、器に出石焼を使っています。さて、あなたは何皿食べられるかな?



クイズの答え

100万本のチューリップが咲き誇ります!

但馬國出石観光協会
tel.0796-52-4806

但東シルクロード観光協会
tel.0796-54-0500

豊岡市役所環境経済部
大交流課
tel.0796-21-9016

[制作] 山陰海岸ジオパーク推進協議会
兵庫県立大学大学院
地域資源マネジメント研究科